



2023年度 第1四半期 決算説明会資料

JT Group CFO
加藤 信也

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※用語の定義については、スライド11以降に記載しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

2023年度 第1四半期実績

(億円)	2023年 1-3月	前年同期比
財務報告ベース		
売上収益	6,653	+14.4%
調整後営業利益	2,234	+14.6%
営業利益	2,064	+15.7%
四半期利益	1,447	+16.6%

注：IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの実績は超インフレ会計の影響を含みます。

為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。

為替一定ベースcore revenue：前年同期比 +6.2%

為替一定ベース調整後営業利益：前年同期比 +5.1%

- たばこ事業のプライシング効果が牽引

売上収益（財務報告ベース）

- たばこ事業・医薬事業のトップライン伸長に加え、円安に伴うたばこ事業のポジティブな為替影響により、増収

調整後営業利益（財務報告ベース）・営業利益

- 全事業における増益
- 円安に伴うたばこ事業のポジティブな為替影響

四半期利益

- 営業利益の増益及び法人税負担の減少が、金融損益の大幅な悪化を相殺し、増益

たばこ事業：数量実績

(億本)	2023年 1-3月	前年同期比
総販売数量	1,302	+1.3%
Combustibles 販売数量	1,282	+1.2%
RRP販売数量	20	+3.0%

総販売数量

- (+) EMAクラスターにおけるCombustiblesの好調なモメンタム継続
- (+) RRP販売数量の成長が継続
- (-) 複数の主要市場における総需要の減少影響

Combustibles

- (+) 日本におけるセグメント内シェアの伸張
- (+) トルコにおいて前年同期に生じた在庫積み増しの反動と比較した相対的な増加
- (+) Global Travel Retailにおける渡航者の回復、新興国における力強いモメンタム
- (-) 英国における総需要の減少影響

RRP

- (+) 日本におけるHTS*カテゴリ内シェアの伸張

*heated tobacco sticks

たばこ事業：財務実績

(億円)	2023年 1-3月	前年同期比
自社たばこ製品売上収益	5,791	+15.3%
(同 為替一定)	5,336	+6.3%
調整後営業利益	2,251	+14.1%
(同 為替一定)	2,065	+4.6%

注：IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの実績は超インフレ会計の影響を含みます。
 為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。

自社たばこ製品売上収益

- (+) ロシアや英国を筆頭に多数の市場でプライシング効果が発現
- (-) 市場構成比の悪化に伴い、数量効果はネガティブ
- (-) 日本等におけるダウントレーディングの継続

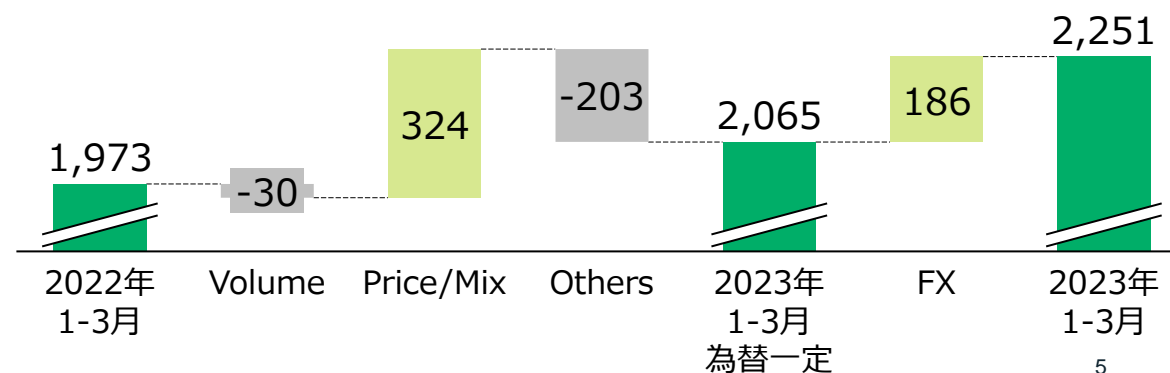
調整後営業利益

- (+) トップラインの伸長
- (-) サプライチェーンコストの上昇影響

為替影響

- (+) 円安により、前年同期比で大幅なポジティブ影響

調整後営業利益 増減要因 (億円)



たばこ事業：クラスター・主要市場サマリー

ASIA

クラスター動向: 総販売数量は前年同期比で増加するも、単価差・商品構成影響はネガティブ

- **日本:** Ploom Xの継続的なシェア伸張及びMEVIUS E-series・Camel Craftによるダウントレーディングの捕捉により、HTSとCombustibles双方でシェアが伸張し、ネガティブな単価差・商品構成影響を一部相殺
- **フィリピン:** 力強いプライシング効果による貢献、シェアの伸張
- **台湾:** シェアの継続的な伸張が総需要の減少影響を一部相殺

WESTERN EUROPE

クラスター動向: プライシング効果が総需要減少によるネガティブな数量影響とコスト上昇影響を上回る

- **イタリア:** Winstonが牽引し、シェアが伸張
- **スペイン:** 力強いプライシング効果の貢献が総販売数量の減少を相殺
- **英国:** 渡航制限の緩和・度重なる増税値上げにより総需要減少幅は大きいものの、引き続き力強いプライシング効果の発現

EMA

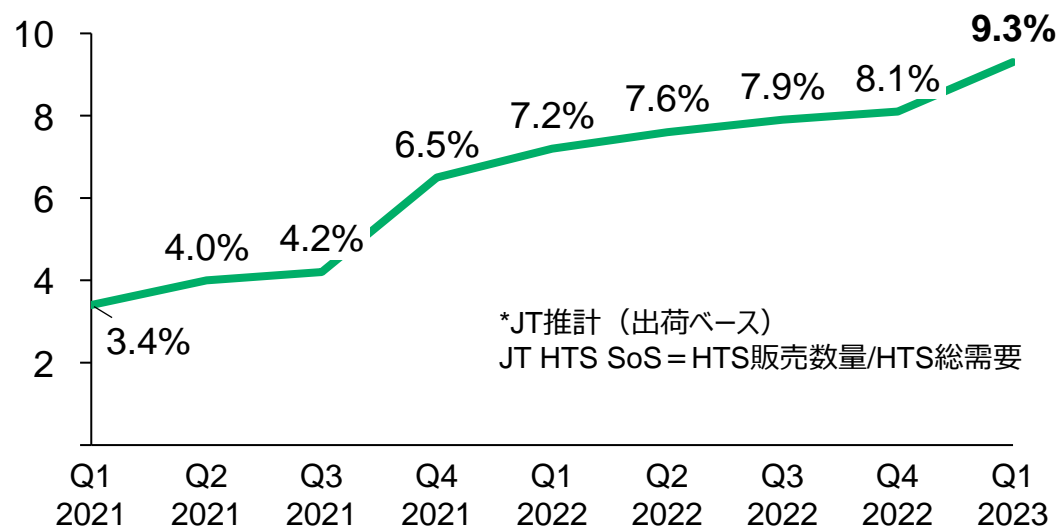
クラスター動向: GTRの回復等を主因とした総販売数量の増加と力強いプライシング効果が、サプライチェーンコストの上昇影響を相殺

- **ルーマニア:** 総販売数量が好調に推移し、プライシング効果も発現
- **ロシア:** プライシング効果の発現
- **トルコ:** 総需要の相対的な増加に伴い総販売数量が増加

たばこ事業 : Ploom X overview in Japan

- RRP市場占有率は約37%、各社によるHTS新製品の投入や販促活動により引き続き伸張の傾向
- Ploom XのHTSカテゴリ内シェアの伸張が継続
 - デバイスの小売価格改定 (2022年11月)
 - MEVIUSたばこスティックのリニューアル (2023年3月)

日本市場 : HTSカテゴリにおけるJTシェア*の推移



本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。

たばこ事業 : Ploom X global overview

英国

- HTSの市場占有率は約1%*
- デバイスやスティックのクオリティ、価格について、お客様からの良好なフィードバック

イタリア

- HTSの市場占有率は約16%*
- 4月上旬よりミラノで販売開始、順次拡販を予定

リトアニア

- HTSの市場占有率は約27%*
- 4月中旬よりヴィリニュスで販売開始、順次拡販を予定

その他の上市計画

- リスボン（ポルトガル）...5月中旬
- 2023年には合計で10以上の市場で販売開始を予定

*HTS市場占有率はいずれも2022年度平均



医薬事業・加工食品事業：財務実績

医薬事業

(億円)	2023年 1-3月	増減
売上収益	249	+36
調整後営業利益	69	+24

- **売上収益**：導出品のライセンス契約に伴う一時金収入及び鳥居薬品において、皮膚疾患領域・アレルギー領域の売上が伸長したことにより、前年同期比で増収
- **調整後営業利益**：売上収益の増収が、研究開発費の増加を上回り、前年同期比で増益

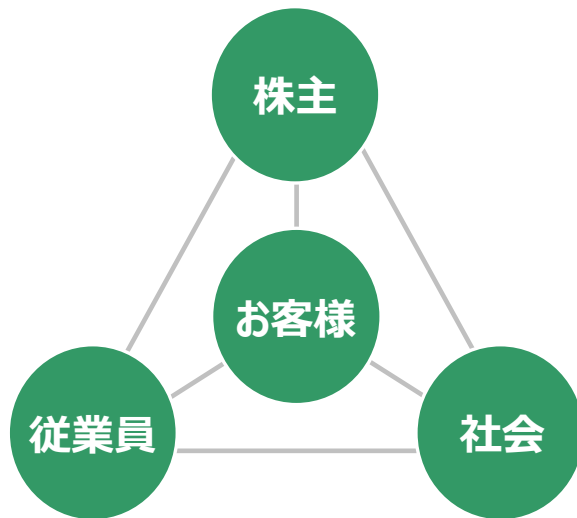
加工食品事業

(億円)	2023年 1-3月	増減
売上収益	356	▲1
調整後営業利益	14	+10

- **売上収益**：前年度に実施した価格改定に加え、外食需要の回復によるトップライン伸長により、ベーカリー事業の譲渡による売上収益の剥落があるものの、前年同期と同水準
- **調整後営業利益**：前年度から続く大幅な原材料費等の悪化を価格改定効果が相殺し、加えて外食需要の回復によるトップラインの伸長もあり、前年同期比で増益

Closing Remarks

心の豊かさを、
もっと。



1-3月期実績

- たばこ事業におけるプライシング効果の発現、複数市場におけるシェア伸張に支えられ、好調なスタート
- 医薬事業・加工食品事業の増益もグループ全体の利益成長を補完

2023年度業績見込について

- 事業パフォーマンスは好調に推移しているものの、為替動向はボラティルな環境下であり、加えて様々な不確実性を見極めが必要
- 通期業績予想については、第2四半期決算以降に必要な応じアップデートを実施

Tobacco Investor Conference

- 5月8日（月）に開催予定
- たばこ事業における成長戦略及びRRPカテゴリへの取り組みについて説明予定

<用語の定義>

調整後営業利益（AOP）：	営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース：	前年同期の為替レートを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
為替一定ベースcore revenue：	前年同期の現地通貨対米ドル、米ドル対円の為替レートを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益 + 医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
当期利益/四半期利益：	親会社の所有者に帰属する当期利益/四半期利益
Reduced-Risk Products (RRP)：	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおけるheated tobacco sticks (HTS), infused-tobacco capsules (Infused), E-Vapor, 無煙たばこ製品等が含まれる
Heated tobacco sticks (HTS)：	高温加熱型の加熱式たばこ。1スティック = RMC1本として換算
Combustibles：	製造受託／水たばこ／加熱式たばこ／無煙たばこ／E-Vaporを除く可燃性のたばこ製品
GFB： (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランド

<用語の定義>

総販売数量：	水たばこ／製造受託／RRPデバイス及び関連アクセサリを除いたばこ製品の販売数量
Combustibles販売数量：	水たばこ／E-Vapor／無煙たばこ（Snus・ニコチンパウチ）／加熱式たばこ／製造受託を除いたばこ製品の販売数量
RRP販売数量：	Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数（RMCとして換算）。デバイス/関連アクセサリ等は含まない
自社たばこ製品売上収益：	物流事業／製造受託等を除く売上収益